

徳之島の高校生の森林観

鹿児島大学農学部 池田 朝二・今永 正明
吉田茂二郎・N. Y. Nakajima

1. はじめに

近年、地球環境問題とりわけ森林に関する人々の関心が高まりつつあるなかで、次世代をになう若者の森林・林業に対する考え方を知ることは今後森林施業等を行っていくうえで大変重要であると考えられる。また現在までに幾度かの森林に関する意識調査が行われてきたが、調査対象地の多くが本土のスギ、ヒノキ等の人工林分布地域であった。

そこで本研究は、マスコミ等による森林に関する情報は本土と同様に伝達されていると考えられるが、ガジュマル、イジュ、シャリンバイ等を主とした森林環境のなかで生活する離島の若者の森林に対する認識がどういったものであるかを知ることを目的として行ったものである。

2. 研究の対象地と方法

徳之島の林野面積は全島面積の43.7%（平成4年現在）を占めており、針広比率は面積でおおよそ35:65である。針葉樹ではマツが面積、蓄積ともほとんどで（面積率で97.8%）、スギ、ヒノキの占有率は極めて低い（同じくスギ2.0%、ヒノキ0.3%）。また広葉樹では、イジュ、モクマオウ、シャリンバイ等が主に分布している。

調査は1992年5月に徳之島高校の生徒264名、徳之島商工高校の生徒281名、徳之島農業高校の生徒88名の計633名についてアンケート形式を用いて実施した。また結果を考察する際に鹿児島中央高校の生徒268名、伊集院高校の生徒261名のデータを比較の対象としたが、これは1990年に本研究室で行った調査による。なおアンケートの内容は四手井ほか²⁾の行ったものに若干の質問を加えたものである。

3. 結果と考察

1. 森林に関する情報源

「あなたは森林に関する知識を主に何から得ています

か」という質問では、図-1のように『テレビ・ラジオ』によるという回答が最も多く（55~58%）、ついで『自分の体験』によるといった回答が13~23%であり、『新聞』は全国紙、地方紙ともに極めて少なかった（2~4%）。このことから、多くの生徒の森林意識は主にテレビやラジオによる情報によって形成されていると考えられる。

2. 親しみのある木、森林の役割

表-1は「あなたにとって最も親しみのある木の名前を五つあげて下さい」という質問に対する回答であり、スギ、マツ、サクラといった樹種が各高校に共通してあがっているが、徳之島の高校では郷土樹種であるガジュマルが最も多く、スギ、サクラの割合がやや低くなっている。また、「あなたが知っている森林の役割（働き）をいくつか上げて下さい」という質問では、表-2のように『酸素供給』が最も多く、『木材供給』と答えた生徒は農業高校で22%であったが、他の高校では3~4%と極めて少なかった。そのほかアマミノクロウサギの保護、赤土の流出防止といった回答もみられた。

3. 森林の維持、緑の必要性

「森や林、森林を美しく維持するためには、人間の手を加えなければならない」という意見と、森林を美しく維持するためには、人間の手を加えるべきでないという意見と、どちらが正しいと思いますか」という質問では、図-2のように多くの生徒が「人手を加えるべきではない」と回答し、さらに高校別にみても、比較的まとまった森林が少ない鹿児島市街地に位置する中央高校では約80%にものぼり、その他の高校でも数値はやや低いもののほぼ同様の結果であるといえる。このように「森林に人手を加える」ことに対して若者の理解が少ないことは今後も林業等をおこなうにあたって、さまざまな問題が生じてくるものと思われる。また、「あなたは、緑の必要性についてどのようにお考えでしょうか」という質問では電気・ガス・水道・道路などいずれも日常生活に必要なものを比較の対象としてい

るが、結果は図-3のように鹿児島の高校では約80%の生徒が「生活に不可欠」と答えているのに対して、徳之島の高校では「生活に不可欠」と答えた生徒は46~59%にとどまり、「可能な限り必要」といったどちらかという現実的な意見¹⁾も33~47%ほどみられた。

引用文献

- (1) 今永正明：自然観の国際比較に関する研究 (XV) 鹿児島県蒲生町民の森林意識，鹿大演報，17，1~11，1989
- (2) 四手井綱英・林知己夫 編著：森林を見る心「森林と文化」国際シンポジウムからの報告，254pp，共立出版，東京，1984

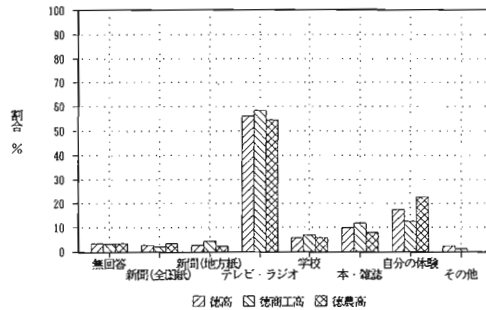


図-1 森林に関する情報源

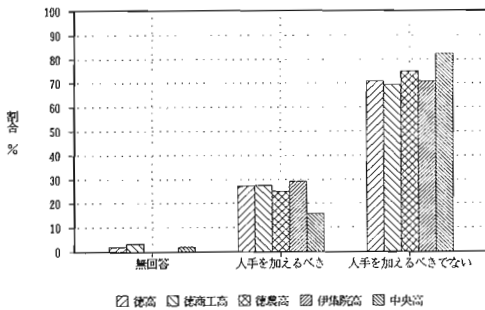


図-2 森林の維持

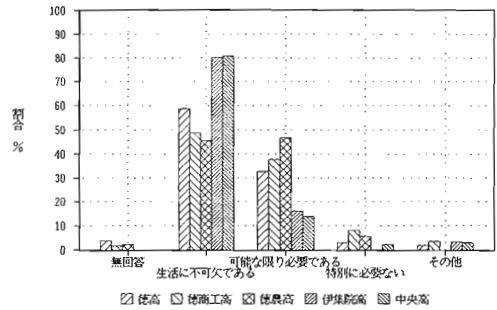


図-3 緑の必要性

表-1 親しみのある木

順位	徳高	徳商工高	徳農高	伊集院高	中央高
1	ガジュマル 75.0	ガジュマル 72.2	マツ 86.4	スギ 78.9	スギ 67.5
2	マツ 61.4	マツ 55.9	ガジュマル 83.0	マツ 64.8	マツ 60.1
3	サクラ 32.2	スギ 34.9	スギ 47.7	イチョウ 59.0	サクラ 51.5
4	スギ 28.0	サクラ 32.7	サクラ 36.4	サクラ 58.2	イチョウ 32.1
5	ソテツ 21.6	イチョウ 13.2	ソテツ 28.4	ウメ 34.9	ヒノキ 26.9

表-2 森林の役割 (働き)

順位	徳高	徳商工高	徳農高
1	酸素供給 58.2	酸素供給 47.7	酸素供給 54.5
2	水源かん養 27.7	水源かん養 20.3	土砂崩れ防止 29.5
3	動植物の保護 23.5	空気の浄化 20.3	木材供給 21.6
4	土砂崩れ防止 20.8	土砂崩れ防止 19.6	空気の浄化 19.3
5	空気の浄化 18.2	動植物の保護 15.7	水源かん養 18.2